



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会

〒251-0052 藤沢市藤沢115 エフティービル



”行動する“体協を めざして

藤沢市体育協会 会長

山田 貢

このたび歴史と伝統のある藤沢市体育協会第九代会長に不肖私が仰せつかり身にあまる光栄に存じます。一方責任の重大さに思いをいたし、身の引き締まる思いをいたしております。市体育協会は一九四六年（昭和二十一年）太平洋戦争敗戦後に、陸上・野球・軟庭・排球・籠球・卓球・水泳の七競技団体で結成されて以来六十年、多くの先輩各位のご指導、ご尽力によって現在では三十一競技団体、加盟登録人口も約二万九千人と大きく発展してまいりました。競技内容は多種多様でありますが目指す目的は一つ市内唯一の種目別アマチュアスポーツ団体の集合体であるということです。各協会はお互いに連絡協調をはかり競技力の向上に努め、時代の要請に応えるために、生涯にわたり市民が多様なスポーツを楽しみ、親しめるようその普及振興と体育文化の高揚に努めることが大切なことではないでしょうか。

スポーツは人生を豊かにし、充実したものとするために、人間の身体的精神的な欲求にこたえる世界共通の人類の文化の一つであります。明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や、個々の心身の健全な発達に必要不可欠なものであります。人々が生涯にわたってスポーツに親しむことは極めて大きな意義があるといわれています。身体を動かすということは爽快感、達成感、連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜び、さらには体力の向上や、精神的ストレスの解消、生活習慣病の予防などにも役立つものであります。

またスポーツは現代社会において失われつつある青少年のモラルの向上をはかる上からも必要であると考えます。礼節を重んじ仲間や指導者との交流を通じ青少年の健全育成に資するものであります。さらに、スポーツを通じ市民が交流を深めることは、市民相互の連帯意識の高揚にも大いに役立つものであります。

このように考えてまいりますと多様な意義を有する文化としてのスポーツの実戦部隊の担い手としての藤沢市体育協会の果たす役割は重大な使命を担っているといっても過言ではありません。

私はこれからの藤沢市体育協会は

行動する協会でなければならぬと思えます。具体的には次のように考えます。

一、連携会議の確立

行政、スポーツ振興財団、体育協会が、定期的な連携会議を開催し相互に果たす役割を確認しつつ諸課題の解消に努める。

一、財務体制の充実強化

現在は各協会からの賛助金、藤沢市補助金等により運営しているが自主財源の確保策を検討する。

一、一貫指導体制の確立

ジュニア期におけるスポーツ活動は、小学生はスポーツ少年団、中学生は学校のクラブ活動が主流であるが、さらに発展させるため各種目協会内に小中生徒の一貫指導体制を確立し選手の普及強化に役立てる。

一、地域総合型のスポーツ活動の推進
地区社会体育振興協議会が中心となつて活動する地域総合型スポーツクラブに対し指導員の派遣等支援体制の構築をはかる。

ここに、藤沢市体育協会の在り方の一端を申し述べましたが大いに議論を深め相互に連絡協調を図りつつ藤沢市体育協会の発展のため努力をして参る所存であります。

今後とも深いご

理解、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



太極拳の普及に向けて

▼藤沢市太極拳連盟

太極拳は中国の古い歴史、文化の中から産まれた武術であり健康法です。老若男女誰でも、年齢・体力に依りて楽しめる、健康効果の高いスポーツ、そして、芸術性も備えたスポーツとして世界各地に拡がっています。その、のびやかでゆったりとした動きをご存知の方も多くいらつしやると思います。

私たち藤沢市太極拳連盟は、平成八年に創設、翌年、藤沢市体育協会に加盟してから満十年がたちました。

昭和五十二年に発足した藤沢市太極拳クラブを筆頭に現在七つのクラブで構成されています。

藤沢市太極拳連盟の活動として、毎年一月に太極拳フェスティバルを開催し、普及に努めています。初めての方対象の一日太極拳教室です。全体練習だけでなく小さなグループに分かれて、繰り返し



■太極拳フェスティバルの様子

丁寧に練習します。ゆっくりと流れるリズムの中で、太極拳の心地よさを体験して頂いております。お友達同士で、ご夫婦で、親子で、もちろんお一人でも、小学生から八十代まで、毎年幅広い年代の方々のご参加をいただいております。多世代が一堂に楽しめる、太極拳はまさに生涯スポーツであると感じます。

また、太極拳は競技スポーツでもあります。藤沢市民総合体育大会の一環として競技大会を開催しています。コートを設置し、選手の型演武を審判員が採点する採点競技です。

太極拳競技大会は、今年度、六回目の開催となります。開催日は十一月十一日(曜日)、会場は秩父宮記念体育館メインアリーナです。

競技参加へは、連盟加盟クラブを中心に、一般の方へも選手募集の呼びかけをしています。ご観覧については、観覧席から自由にご覧いただけます。太極拳の競技会とはどのようなものか、興味のある方はどうぞご覧になってください。

さらに藤沢市スポーツ振興財団事業の太極拳教室や、善行・大越地区・社会体育振興協議会・地域総合型スポーツクラブの太極拳教室へも、派遣講師として出向かせて頂いております。

このように、私たち藤沢市太極拳連盟は、様々な場面で、市民の皆様以太極拳にふれて頂けるよう努力しております。これからも、ますます、太極拳の輪が拡がっていきますように願ってやみません。

(田中)

種目協会 アラカルト

テニスの普及にむけて

▼藤沢市テニス協会

藤沢市テニス協会は、

本年創立三十周年を迎えました。これを記念し、平成十九年二月三日(日)ドホテル湘南において多くのご来賓の方々においでいただき、盛大に記念式典と祝賀会を開催しました。第一部の記念式典では、これまでにテニス

協会の発展にご尽力いただいた方々に感謝状を贈呈し、第二部の祝賀会では、山本捷雄藤沢市長を始め多くの人々からご祝辞をいただきました。

また三十周年記念誌も作成し記念品とともに皆様にお渡ししました。

当協会は、昭和五十二年、テニスクラブ十一、事業所九、合計二十の団体で発足し、藤沢市体育協会にも加盟しました。協会設立当時のクラブは、国道一号線より南側がほとんどでコート数も一〜二面の同好クラブが主でした。

天皇・皇后両陛下が軽井沢でのテニスにご縁で結ばれたのと高度成長期が重なり、藤沢市においても昭和五十年頃から営業クラブやテニスクールが相次いで開設され爆発的にテニス人口が増加しました。

現在は、テニスクラブ二十九、事業所

二十三の合計五十二団体へと加盟団体も増えるとともに、全日本クラスの選手も多く輩出するまでになりました。



■来賓・表彰者との記念撮影

平成九年四月には秩父宮記念体育館が改築され、そのオープニングセレモニーとしてメインアリーナの特設ラバーコートにおいて、現在世界で活躍中の杉山愛選手他を招きエキシビジョンマッチが開催されました。秩父宮記念体育館では、毎年九月二十三日のテニスの日にジュニア講習会等を開催し、テニスの普及を図っています。

藤沢市と姉妹都市提携をむすんでいる長野県松本市との間で、昭和六十一年、初めてテニス親睦会が開催され、以後二年ごとに相互に行き来して交流を深めています。今年は松本市市制施行百周年の記念すべき年であり、十一月に藤沢市テニス協会から多数松本市を訪れ、親睦を深める予定です。

当協会は、春の実業団体個人戦、藤沢チーム対抗戦、夏の市民総合体育大会テニス大会、秋の実業団体戦、冬の藤沢選手権等の大会を開催しています。また、平成十六年四月から教育委員会主催のテニス講習会を引き継ぎ、スポーツ振興財団やまちづくり協会との共催でシニア、一般、少年男女を対象に講習会を行う等、各層にわたり誰でも楽しめるテニスの普及と市民の健康増進に努めています。

(青木)

平成18年度収支決算

1. 収入の部 (単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減
体協費	10,708,000	10,786,411	78,411
補助金及び交付金	3,599,000	3,612,000	13,000
委託料	5,037,000	5,037,000	0
賛助会費	1,500,000	1,551,000	51,000
分担金	544,000	544,000	0
繰越金	27,689	27,689	0
雑収入	311	14,722	14,411

2. 支出の部 (単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減
運営費	10,708,000	10,522,333	185,667
事務局費	1,774,000	1,823,749	△49,749
事業費	8,920,000	8,698,584	221,416
積立金	10,000	0	10,000
予備費	4,000	0	4,000

収入済額 10,786,411 円
 支出済額 10,522,333 円
 差引額 264,078 円

平成19年度収支予算

1. 収入の部 (単位 円) 2. 支出の部 (単位 円)

項目	予算額
体協費	10,944,000
補助金及び交付金	3,599,000
委託料	5,036,000
賛助会費	1,500,000
分担金	544,000
繰越金	264,078
雑収入	922

項目	予算額
運営費	10,944,000
事務局費	2,126,000
事業費	8,765,000
積立金	10,000
予備費	43,000

平成十九年度藤沢市体育協会事業計画

本年度藤沢市体育協会では次の事業を展開します。

- 1 評議員会、理事会、常任理事会、専門部会の開催
- 2 藤沢市体育協会の組織運営に関する研究
- 3 藤沢市委託事業の実施
 - ① 第62回藤沢市民総合体育大会開催事業
 - ② 第58回神奈川県総合体育大会藤沢市代表選手派遣事業
- 3 スポーツ人の集い講演会の開催
- 4 加盟種目協会への補助金交付
- 5 第23回「スポーツ人の集い」開催
- 6 藤沢スポーツ賞(功労者、優秀選手、敢闘選手)の表彰及び各種表彰に関する事業
- 7 先進市体育協会への視察
- 8 県外スポーツ交流推進の助成事業
- 9 賛助会員の拡充
- 10 種目協会会長の開催
- 11 広報誌の編集、発行に関する事業
- 12 スポーツ関係団体との連携充実
- 13 その他体育協会の目的遂行に必要な事業
 - ① 市民総合体育大会の見直し検討の推進
 - ② 体育協会とスポーツ課、スポーツ振興財団、藤沢市医師会との連携について
- 14 IT化推進

会長交代

サッカー協会		剣道連盟	
新会長 山口幸雄	旧会長 小野隆弘	新会長 伊澤俊彦	旧会長 久木田善藏

